

21 年産春野菜の生産・出荷状況について

全国農業協同組合連合会等

春野菜の作付面積・生育状況の概要

[野菜需給協議会資料]

平成21年2月25日現在

1. 春キャベツ

出荷時期	産地	当初計画				平 年 の 生 育 ス テ ー ジ 概 要												今年の出荷見通し(時期)		
		面積		出荷量		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	出荷開始	ピークの時期	平年との比較
		計画 (ha)	前年比 (%)	計画 (トン)	前年比 (%)															
4月～6月	全農千葉	1,060	100	36,350	108		播種		定植	定植			収穫	収穫	収穫	収穫			4月中旬～	やや早い
	全農神奈川	719	108	36,730	110		播種		定植	定植	定植		収穫	収穫	収穫			2月下旬	4/15～4/20	やや早い
	愛知経済連	485	101	22,320	101		播種	播種	定植	定植	定植		収穫	収穫	収穫	収穫			4月、5月下旬～6月中旬	4月出しは前進、5月出しは平年並み
	その他	1,355		44,653																
	計	3,619	103	140,053	109															

(注1)面積、出荷量の計画は昨年9月に作成した「当初計画」の数字。出荷量については平年作を見込んで作成 (注2)前年比は前年実績比

コメント

計画面積：・全体的に前年をやや上回る作付け動向。神奈川は三戸(みと)地域の新規作付けの40ha増などで増加。

出荷計画：・前年が春先の天候不順の影響などで出荷量は少なめだったため、前年比は高くなっている。

生育状況：・各産地2月の気温高で前進化している様子。

出荷見通し：・各産地現時点では平年並の出荷量を見込む。

2. たまねぎ

平成21年2月25日現在

出荷時期	産地	当初計画				平 年 の 生 育 ス テ ー ジ 概 要												今年の出荷見通し(時期)			
		面積		出荷量																	
		計画 (ha)	前年比 (%)	計画 (トン)	前年比 (%)	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	出荷開始	ピークの時期	平年との比較	
4月～10 月	ホクレン	4,120	100	208,640	99	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷	出荷					収穫	収穫	出荷		8月下旬～	
	佐賀県農協	1,987	107	91,126	111	定植					収穫	収穫	収穫	出荷	出荷	播種		3月中旬	4月下旬～5月中旬		
	全農兵庫	1,380	96	71,549	97	定植						収穫	収穫	出荷	出荷	播種			5月中旬～		
	その他	3,270		147,071																	
	計	10,757	101	518,386	102																

(注1)面積、出荷量の計画は昨年9月に作成した「当初計画」の数字。出荷量については平年作を見込んで作成 (注2)前年比は前年実績比

コメント

計画面積：・全体ではほぼ前年並み。佐賀については極早生品種(3月下旬～4月上旬出荷)の作付けが増加した。

出荷計画：・全体では平年並み・前年並みの出荷を見込む。

生育状況：・兵庫は現時点では平年並み・前年並みの作柄予想

出荷見通し：・全体的に平年並みの出荷量を見込む。

・ホクレンの4月の出荷計画は平年並みで、府県産の切り替え時期の4月中・下旬は前年より多く、平年並みかやや多い出荷量が見込まれる。

3. 春大根

平成21年2月25日現在

出荷時期	産地	当初計画				平 年 の 生 育 ス テ ー ジ 概 要													今年の出荷見通し(時期)		
		面積		出荷量		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	出荷開始	ピークの時期	平年との比較	
		計画 (ha)	前年比 (%)	計画 (トン)	前年比 (%)																
4月～6月	全農千葉	700	100	29,600	101				播種	播種	播種			収穫	収穫	収穫	収穫		4月上旬	4月下旬～5月上旬	やや前進
	ホクレン	171	99	7,415	101									播種		収穫		5月中旬	6月	平年並み	
	全農青森	180	102	7,280	100									播種		収穫		5月下旬	6月	平年並み	
	その他	463		25,183																	
	計	1,514	100	69,478	99																

(注1)面積、出荷量の計画は昨年9月に作成した「当初計画」の数字。出荷量については平年作を見込んで作成 (注2)前年比は前年実績比

コメント

計画面積：・前年並みの計画。

出荷計画：・全体では順調出荷だった前年並みの出荷を見込む。

生育状況：・千葉の現在の作柄は平年並み。ホクレン、青森の播種は3月下旬から。

出荷見通し：・現時点では平年並みか平年をやや上回る出荷量を見込む。

4. 春はくさい

平成21年2月25日現在

出荷時期	産地	当初計画				平 年 の 生 育 ス テ ー ジ 概 要													今年の出荷見通し(時期)		
		面積		出荷量		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	出荷開始	ピークの時期	平年との比較	
		計画 (ha)	前年比 (%)	計画 (トン)	前年比 (%)																
4月～6月	全農長野	360	98	17,000	107							播種	播種	定植	定植	収穫	収穫	5月中旬	6月から本格化	6月中旬～7月中旬	
	全農茨城	185	100	13,000	93						播種	定植	収穫	収穫	収穫			3月上旬	4月	平年並み	
	全農長崎	83	102	6,000	107				播種	定植	定植	収穫	収穫	収穫				2月中旬	3月		
	その他	95		3,000																	
	計	723	99	39,000	103																

(注1)面積、出荷量の計画は昨年9月に作成した「当初計画」の数字。出荷量については平年作を見込んで作成 (注2)前年比は前年実績比

コメント

計画面積：・前年並みの計画。

出荷計画：・前年が春先の天候不順の影響などで出荷量が少なめだったため、前年比はやや高くなっている。

生育状況：・茨城、長崎は現在のところ作柄順調。長野は3月下旬から定植。

出荷見通し：・現時点では平年を上回る出荷量を見込む。

5. 春レタス

平成21年2月25日現在

出荷時期	産地	当初計画				平 年 の 生 育 ス テ ー ジ 概 要												今年の出荷見通し(時期)		
		面積		出荷量		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	出荷開始	ピークの時期	平年との比較
		計画 (ha)	前年比 (%)	計画 (トン)	前年比 (%)															
4月～5月	全農長野	510	100	15,790	92						播種	播種	播種	定植	収穫	収穫	収穫	5月上旬	5/10以降増加	
	全農茨城	640	98	15,000	106				播種	播種	定植	定植	収穫	収穫	収穫			2月上旬	3月下旬～5月上旬	平年並み
	全農兵庫	485	101	10,997	113				播種	定植	定植	定植	定植		収穫				5月上旬～5月中旬	
	その他	635		11,537																
	計	2,270	102	53,324	104															

(注1)面積、出荷量の計画は昨年9月に作成した「当初計画」の数字。出荷量については平年作を見込んで作成 (注2)前年比は前年実績比

コメント

計画面積：・ほぼ前年並みの計画。

出荷計画：・前年が春先の天候不順の影響などで出荷量が少なめだったため、前年比はやや高くなっている。

生育状況：・茨城は初期成育は10日程度遅れていたが、2月の気温高で平年並みのペースに回復。

・兵庫は平年並みの生育状況。長野は育苗は順調。

出荷見通し：・全体的に現時点では前年なみ(平年をやや下回る)の出荷量を見込む。

6. 春夏にんじん

平成21年2月25日現在

出荷時期	産地	当初計画				平 年 の 生 育 ス テ ー ジ 概 要												今年の出荷見通し(時期)		
		面積		出荷量		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	出荷開始	ピークの時期	平年との比較
		計画 (ha)	前年比 (%)	計画 (トン)	前年比 (%)															
4月～7月	全農徳島	980	102	43,400	103				播種					収穫	収穫			3月中旬	4月	やや早い
	全農千葉	500	98	15,260	115					播種	播種	播種			収穫	収穫	収穫	4月中旬	5月下旬～6月中旬	平年並み
	全農青森	360	101	12,560	101									播種		収穫	収穫	6月中旬	7月	平年並み
	その他	482		16,041																
	計	2,322	101	87,261	106															

(注1)面積、出荷量の計画は昨年9月に作成した「当初計画」の数字。出荷量については平年作を見込んで作成 (注2)前年比は前年実績比

コメント

計画面積：・ほぼ前年並みの計画。

出荷計画：・前年は小ぶりで出荷量は少なめだったため、前年比は高くなっている。

生育状況：・徳島は若干早めの生育で作柄は平年並み。千葉は概ね順調な生育。

出荷見通し：・現時点では平年並みの出荷量を見込む。徳島は前進出荷のため4月以降は前年並みの出荷量見込み。

キャベツの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年2月12日時点）

出荷団体名：全農 千葉県本部

1. 生産（生育）状況について

（1）作付け状況

ア. 作付面積

前年と同程度の作付

イ. 作付時期

平年どおりの播種時期

（2）生育状況

現在出荷されているものは、9月10日前後に播種されたものと思われ、例年より10日ほど生育が早まっている。圃場では菌核病の発生が見られているが、相対的な出荷数量への影響は少ないと思われ、生育自体は概ね順調。

2. 出荷見通し

（1）出荷時期

2月中旬頃までは生育の前進により潤沢な出荷がある。

例年3月に出荷されるものが減少する見込み。

前年は4月下旬からピークに入ったが、本年はやや早まる見込み。

（2）出荷量

2月中旬頃までは、日量2～3万ケースの出荷

3月からは日量1万ケースを割る出荷を予想。

4月中旬より3～4万ケースの出荷となり最盛期に入る見込み。

3. 販売対策

産地・市場・仲卸・量販店との連携による「千葉フェア」「春野菜フェア」等の実施

産地や販売の状況の速やかな伝達・・・週間出荷情報・販売状況報告の作成、主産県会議の実施

品質の安定に向けた取り組み・・・査定会や巡回指導の実施

消費者の安心・安全志向への対応・・・「千葉エコ」「もっと安心農産物」の取り組みの拡大

だいこんの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年2月12日時点）

出荷団体名：全農 千葉県本部

1. 生産（生育）状況について

（1）作付け状況

ア. 作付面積

前年と同程度の作付

イ. 作付時期

平年どおりの播種時期

（2）生育状況

生育は概ね順調。気温が高めに推移したことから、やや前進化傾向。

2. 出荷見通し

（1）出荷時期

4月の月上旬頃から出荷が始まり、出荷のピークは4月下旬～5月中旬の見込み。

（2）出荷量

生育も順調なことから、多めとなった前年と同様の出荷状況となる見込み。

3. 販売対策

産地・市場・仲卸・量販店との連携による「千葉フェア」「春野菜フェア」等の実施
産地や販売の状況の速やかな伝達・・・週間出荷情報・販売状況報告の作成、主産県会議の実施
品質の安定に向けた取り組み・・・査定会や巡回指導の実施
消費者の安心・安全志向への対応・・・「千葉エコ」「もっと安心農産物」の取り組みの拡大

人参の生産（生育）出荷見通しについて（平成21年2月 日時点）

出荷団体名：徳島県本部

1. 生産（生育）状況について

（1）作付け状況

ア. 作付面積

面積については前年比 101%とほぼ前年並み。

イ. 作付時期

播種については、順調に行われ、今後の出荷において、大きな山谷は無い見込である。

（2）生育状況

生育は順調であるが、暖冬また適度な降雨もあり、若干早めの生育となっている。

2. 出荷見通し

（1）出荷時期

早い産地で、2月より出荷が始まっているが、県下出揃うのは3月中下旬頃と見込む。出荷のピークは4月。

（2）出荷量

全体で平年並みの数量を予定している。前進化傾向の為、3月については前年比118%と出荷増ではあるが、以降については、前年並みまたは以下である。

3. 販売対策

L・M中心の出荷。個人間・JA間格差の是正。計画的・平準出荷。品質管理の徹底。人参ジュース試飲を主体とした消費宣伝等。

4. その他

消費動向または販売動向および単価等によっては、出荷調整も検討する。

たまねぎの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年3月10日時点）

出荷団体名：佐賀県農業協同組合

1. 生産（生育）状況について

(1) 作付け状況

ア. 作付面積

H21.2.20 調査分

作型	収穫時期	出荷時期	H21 産面積 (ha)	前年比 (%)	平年比 (%)
極早生	3月下旬～	～4月上旬	272.5	117	146
早 生	4月中旬～	～5月下旬	669.9	98	97
中 生	5月中旬～	～8月中旬	827.0	115	119
晩 生	6月上旬	～9月下旬	175.0	76	66
合 計			1,944.4	104	106

※ 平年値は平成16年～平成20年の5ヵ年を基としています。

イ. 作付時期

播種以降の天候良好で、病虫害少なく苗立ち良く作付け予定の苗確保は平年よりやや良。極早生・早生の定植は、平年並みに順調に進んだが、中生・晩生は曇雨天により平年より1旬ほど定植時期が遅れた。

(2) 生育状況

本年の気象は、平年並みの気温の推移と10月下旬以降の曇雨天が多いことと、1月以降の低温日照不足が特徴である。このため、たまねぎの地上部生育は軟弱徒長で葉数がやや不足気味である。極早生・早生は肥大期に入っており、収穫時期は平年並みと見込まれる。中晩生は、定植の遅れも関係し生育が平年より1旬ほど遅れている。

また、曇雨天の影響で、2月頃より病害の発生が県内各産地で散見され始めた。

2. 出荷見通し

(1) 出荷時期

本年の出荷開始時期は、平年並みの3月中下旬頃より始まり、青切の早生が集中する5月上旬頃で出荷のピークとなる。早生収穫後は、貯蔵可能品種の出荷となり、計画的な出荷が行える。平年4月中旬以降の出荷量増加が本県の傾向であるが、本年は極早生への作付け移行により、4月上旬より出荷量増加が見込まれる。

(2) 出荷量

H21.2.20 調査分

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
出荷計画 (t)	1,150	18,996	26,551	15,393	15,257	13,266	2,123	92,736
前年比 (%)	186.5	114.1	110.8	93.4	113.7	122.4	115.6	110.6
平年比 (%)	145.4	123.7	115.7	112.8	119.3	130.3	100.4	119.1

※ 平年値は平成16年～平成20年の5ヵ年を基としています。

3. 販売対策

- (1) 道産の4月持ち越し残量や本県産の生育状況等によって、4月期の需給や価格が大きく左右されるため、情報交換等連携をとりながら市場等へ精度ある出荷情報を繋いでいきたい。
- (2) 計画出荷を基本におきながら、エンドユーザー（量販・業務）への事前商談により、価格の下落（下支え）対策を行う。
- (3) 極早生・早生時期は生食需要もあるため、試食宣伝やキャンペーン等の実施により消費の拡大を図る。

4. その他

県内主産地における動向

(1) JA さが 白石地区支部

本県における主産地であり、系統作付け面積の64%が白石地区管内作付けである。

昨年からの早生の集中を避けるために、JAでの低温倉庫等の確保により中晩生の推進が進んできている。

本年のたまねぎ生育状況として、曇雨天が影響して中晩生以降の定植が遅れたが年末年始に予定の90%ほどが定植確保した。

徒長気味に生育が進んでいるため、ボトリチス症等の病害の発生が増加してきている。

(2) JA さが 佐賀みどり支部

県内でも、最も早く出荷が始まる太良地区がある。マルチ栽培が盛んな地区であるが、現在マルチ栽培から中晩生の露地作付けへの移行が徐々に行われている。

平年からして、1週間ほど地上部生育は遅れている。

(3) JA からつ

玄海灘方面の主産地であり、上場台地と呼ばれる温暖な無霜地帯があり、太良地区と同様早出荷が可能な産地である。但し、本年は平年と比べ10日ほどの生育遅れで推移し2月末に出荷が始まる。作付けの中心は中晩生で、JAでの低温倉庫等の利用が数年前から行われている。

春はくさいの生産（生育）出荷見通しについて（平成 21 年 3 月 10 日時点）

出荷団体名：茨城県本部

1. 生産（生育）状況について

（1）作付け状況

ア. 作付面積

取りまとめが終了していない地区もあるが、系統共販面積は 190ha～200ha 程度の見込み。

主要産地の作付面積は前年並みとなっている。

面積については、早生－44％・中生 47％・晩生 9％の見込み。

イ. 作付時期

12 月中 - 4 月下旬の見込み。

定植時期は平年並。

（2）生育状況

2 月中旬まで気温高であったため、早生に関しては一時的に前進したが、2 月下旬～3 月に入り、降雪や気温が低いことから、現在前年並みかやや遅れ気味となっている。

2. 出荷見通し

（1）出荷時期

極早生は例年より 1 週間程度早く、3 月初め出荷開始したが一部生産者のため、3/10 ごろ切上がる。

早生については 3/20 ごろから出荷開始の見込みで前年並み。

（2）出荷量

4 月－ 4,300 t（前年比 120％）

5 月－ 4,700 t（前年比 115％）

6 月－ 1,000 t（前年比 80～85％）

全体としては前年の 110％程度の出荷量を見込む。

3. 販売対策

『高品質、安定出荷』

年々引き合いが強まっている業務向けへの供給の拡大のため、生産者格差のない品質が均一したはくさいの出荷を目指す。

レタスの生産（生育）出荷見通しについて（平成21年3月10日時点）

出荷団体名：茨城県本部

1. 生産（生育）状況について

（1）作付け状況

ア. 作付面積

結球レタス	499ha（前年比97%）
サニーレタス	88ha（前年比99%）
グリーンレタス	60ha（前年比88%）

イ. 作付時期

定植期は12月上中旬（降雨等により前年、平年より7日程度遅れ）

（2）生育状況

1月は日中晴れるものの夜温が低く、トンネルの外側の葉の伸張が悪く中列と生育格差が目立った。

2月は気温が上がり、14日には25度近い夏日が観測され生育は回復傾向。病害は定植期から生育期の降雨により、ホコリ等の混入は例年より少ないが、トンネル内が過湿気味で病害が懸念される。

2. 出荷見通し

（1）出荷時期

出荷開始	2月下旬（前年より10日程度早いが一昨年並み）
ピーク	3月下旬～5月上旬（ピーク始期、終期は前年より少ない）

（2）出荷量

3月	5,415t（前年比87%）	とんがり形状もあるが概ね順調。
4月	8,052t（前年比95%）	気温上昇とともに玉伸びが予想される。
2～5月の期間計では前年比98%と前年並み。		

3. 販売対策

- ① 開始期における品質規格検討会、統一提言により品質を均一化する。
- ② 定期的な産地情報により相対取引を促進する。
- ③ 多様な相対取引を実施する。（数量、規格、価格、荷姿等の柔軟な対応）
- ④ 期間値決め取引価格への生産コスト上昇分を反映する。
- ⑤ 流通面から低炭素社会への取組みを実施するため、産地近隣エリアでの消費宣伝活動を展開する。（TXつくばエクスプレス広告、沿線量販店での販促など）
- ⑥ イベント、映画、マスコミ等を活用し「惚レタス」の認知度向上を図る。

4. その他

- ① 元気な土作りを意識し「有機70%専用肥料」の使用を促進している。
- ② トレーサビリティを徹底するため、生産履歴台帳の県域チェックシステムを構築。
- ③ 一部JAではJAグループ茨城GAPの取組みを開始。